

No.	疾病・事業等の名称	施策の展開内容	主な事業の推進状況	評価 (進捗状況)	評価理由	課題と今後の取組方針
25	歯科医師及び歯科衛生士	<p>1 地域医療を担う歯科医師の確保 ・ 離島、へき地に対する歯科医師の派遣、北海道地域医療振興財団による歯科医師の確保を促進</p> <p>2 歯科医師の資質向上 ・ 専門的研修などの取組を促進</p> <p>3 歯科医師養成への支援 ・ 歯科医師の養成確保を促進</p> <p>4 歯科衛生士の育成 ・ 歯科衛生士の資質向上の取組を推進</p>	<p>年3回、羽幌町天売地区及び焼尻地区に歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士から構成される歯科診療班を派遣し、歯科医療確保が困難な離島の地域住民に対し歯科診療を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い一部を中止しました。</p> <p>北海道歯科医師会等と連携を図りながら、特殊歯科医療対応歯科医師研修、歯科医療従事者認知症対応力向上研修及び院内感染防止対策セミナー等の研修を実施しています。</p> <p>該当する機関からの支援要望がなかったため、実施していません。</p> <p>食・口腔機能改善専門職等養成事業により、地域ケア個別会議や一般介護予防事業の場において、多職種役割やケアプランを踏まえたうえで適切な助言をすることのできる歯科衛生士等を養成する研修を実施しています。</p>	③一部に努力を要する	<p>新型コロナウイルス感染症の流行拡大により天売・焼尻地区各1回の歯科診療班派遣事業が中止となりました。</p> <p>歯科専門職の資質向上に向けた研修会のR3年度のそれぞれの受講者数は、障がい者歯科医療協力医講習会:179名、歯科医療従事者認知症対応力向上研修:84名、院内感染防止セミナー及び医療安全に関するセミナー:556名でした。</p>	<p>【課題】 派遣する歯科医療チームの高齢化に伴う従事者の確保や天候に左右されやすい派遣体制の維持が困難になっており、安定的な歯科医療提供体制が必要です。</p> <p>歯周病予防や、地域の要介護高齢者、障がい者等の歯科医療及び保健指導に対応できる歯科衛生士の需要が高まっていますが、人口10万人当たりの歯科衛生士数（R2年度末）は、全道平均（125.0人）では全国平均（113.2人）を上回るものの、第二次医療圏ごとに見た場合には、半数以上の圏域で全国平均を下回るなど、歯科衛生士の地域偏在が生じています。</p> <p>【今後の取組方針】 道内における歯科医師養成大学等と連携しながら、引き続き歯科医師の確保が困難な離島における歯科医療の確保に努め、へき地等に対する安定的な歯科保健医療の提供体制の構築に向け検討を進めるとともに、歯科医療従事者の資質向上の取組を推進してまいります。</p> <p>地域における歯科保健医療の確保を図るため、歯科衛生士の知識・技術の向上のための研修会や復職支援に向けた実態把握を行うなど、より一層の偏在解消に努めます。</p>